

板橋区環境教育プログラム (安城市)



区の木ケヤキ



区の花ニリンソウ



区の鳥ハクセキレイ

板橋区役所の緑のカーテン

板橋区の概要



面積 32.17 km² (23区中9番目)

人口 534,957人 (23区中7番目)

世帯数 275,320 世帯



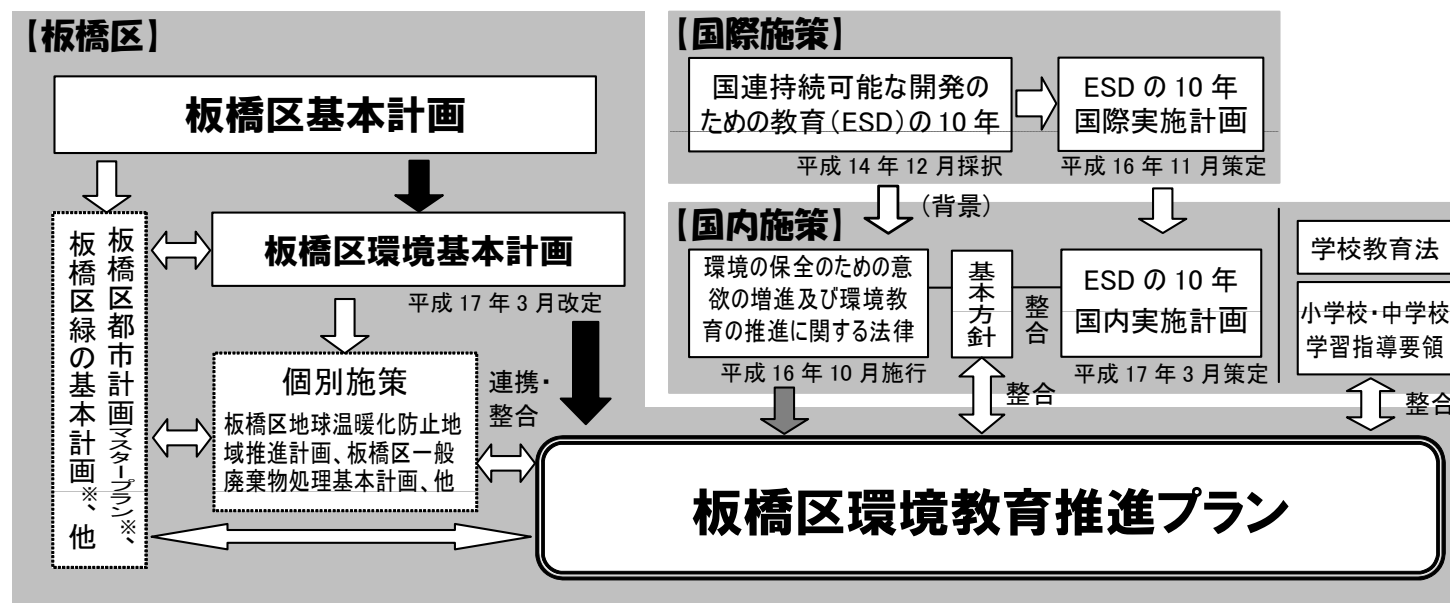
エコポリスセンター 平成7年(1995年)開設



所在地:板橋区前野町4-6-1
敷地面積:1,846.6m²
延床面積:3,712.43m²
構造規模:RC造地下2階地上3階建て

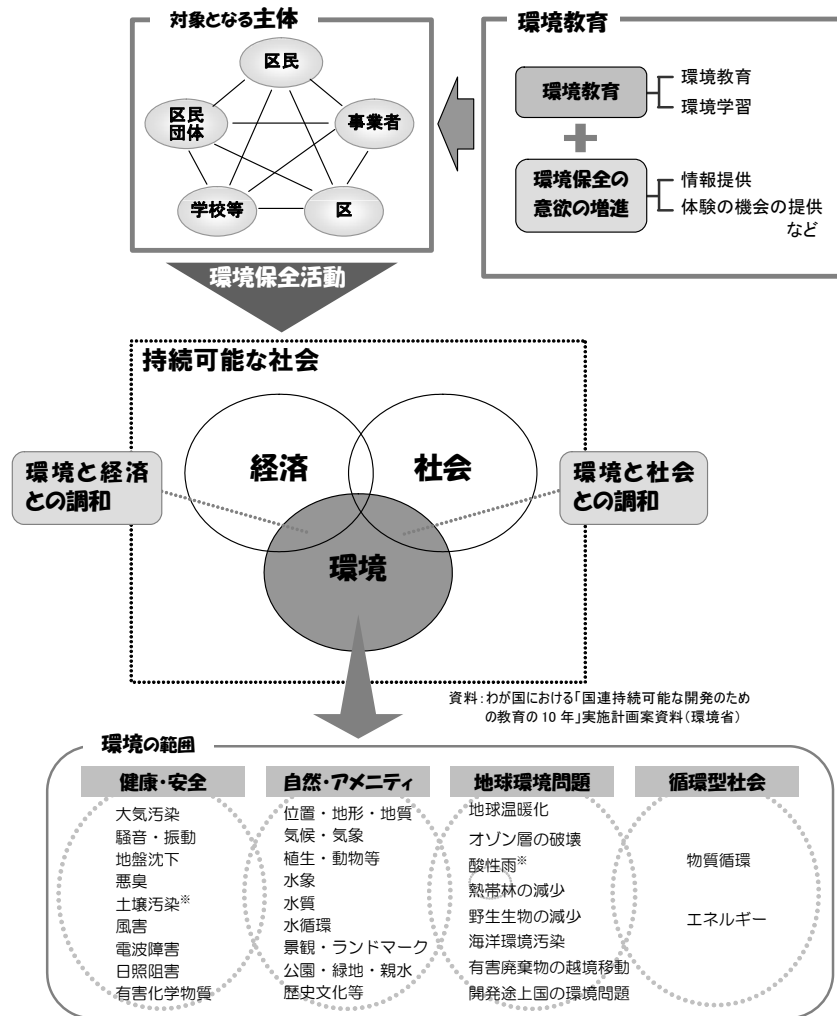
環境教育推進プランの策定 (平成19年2月)

- ・このプランは、「環境教育推進法」第8条の規定に基づく、板橋区の「方針、計画等」及び「板橋区環境基本計画」の重点取り組みである「環境教育の推進」を計画的・効果的に行うための実施計画として策定
- ・板橋区と板橋区教育委員会が連携して策定
- ・基本計画部分は平成27年度までの計画



環境教育推進プラン

(環境教育の対象範囲)



環境教育の基本的な方針

板橋区の環境教育が目指す区民像

人間と環境との関わりについての正しい認識に立ち、自らの責任ある行動をもって、持続可能な社会づくりに参画できる板橋区民

環境教育の基本計画

1 様々なフィールドにおける環境教育の展開

区民、区民団体、事業者、学校等、区のそれぞれが自主的に、また連携して、家庭、地域、職場、学校等、区の施設等の場(フィールド)において、各主体の特色を生かした環境教育を継続的に実施する

2 環境教育推進のための仕組み(基盤)づくり

区は、地域の自然環境や区の施設等の特色を生かした環境教育を推進するとともに、各主体の自主的な環境教育の取組を着実に進めるため、情報の整備、機会の提供、人材の育成、拠点の整備など、推進のための仕組みや基盤の整備を実施する

3 重点施策

環境教育の範囲やその推進に向けた取組は非常に幅広く、網羅的な施策の実施では、地球温暖化防止など喫緊の課題への十分な対応が難しいことから、重点施策を定め効率的な環境教育の展開を図る

重点施策

- ①全区民参加型事業 ～広く一般の人への環境教育～
- ②小・中学校の連携による体験的・実践的な環境教育の推進
- ③(仮称)板橋区環境教育推進協議会の創設
- ④プログラムバンクの創設(環境教育に関する人材・プログラムの一体提供)
- ⑤人材の育成

学校における環境教育の推進

小学校から中学校までを見通した系統的なカリキュラム(小・中一貫カリキュラム)の編成

計画の推進

環境教育が効果的に実施されているかどうかをはかるものさしとして、成果指標を設定し、平成27年度までの目標を立てて、達成状況を管理していく

小中一貫カリキュラムで系統的な 環境教育

板橋区環境教育カリキュラム 平成20年2月策定

●カリキュラムのコンセプト



多様性



つながい
かわい



地球規模で考え
足元から行動する

三期で系統的な学び



評価・意思決定期（中学校2・3年生）

認識・問題把握期（小学校5・6、中学校1年生）

感受期（小学校3・4年生）

板橋区環境教育テキスト「未来へ」



も く じ

■「エコポリス板橋」環境都市宣言

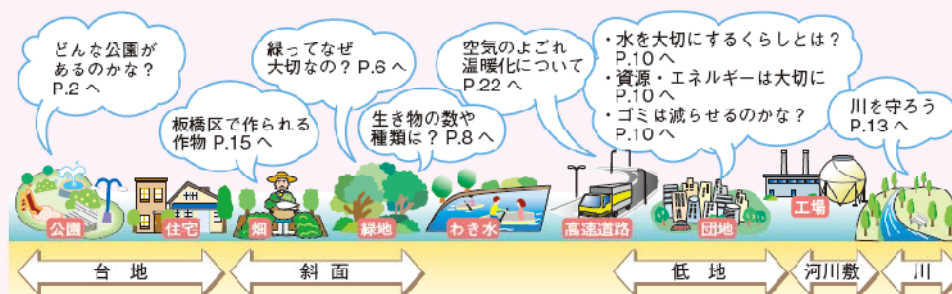
第1部 さまざまな自然や文化

1. 日本にある世界遺産を調べよう！ 2
2. 区内で未来に残したいものは？ 3
3. さまざまな動物・こん虫を調べよう！ 4
4. 区内ではどんな
動物・こん虫が見られるだろう？ 5
5. さまざまな森林のはたらきを知ろう！ 6
6. 身のまわりで植物は
どのように利用されている？ 7
7. さまざまな生物の
つながりを調べよう！ 8
8. 多くの生物がすめる
場所をつくるには？ 9

第2部 自然とわたしたちのくらしのつながり

1. 水と産業や生活とのつながりを考えよう 10
2. 水はホントにたくさんあるの？ 11
3. 水の大切な使い方を調べよう！ 12
4. 水がよごれるのはどうしてだろう？ 13
5. 1年中、野さいやくだものが
とれるわけを調べよう！ 14
6. 板橋区でも野さいはつくられている？ 15
7. 田んぼのはたらきを調べよう！ 16
8. 米作りとわたしたちの生活は
どんな関係があるのだろうか？ 17
9. 生活の中で使われている石油を調べよう！ 18
10. 日本は資源が豊富にあるの？ 19
11. “もったいない” ゴミを調べよう！ 20
12. ゴミはどこへ行くのだろうか？ 21
13. 空気をよごす原因を調べよう？ 22
14. 空気をよごさない工夫には
どんなものがあるだろうか？ 23

■ 生き物は大きなつながりの中に…南極から学ぶ 24



環境教育ハンドブックの作成

・作成経緯

環境教育推進プランに基づき、小・中学校における授業を主眼に、区民・区民団体・事業者等の方々が開催する環境講座など、環境教育を実践するにあたり環境教育に対する知識や経験の少ない指導者の方でもすぐに利用できるよう具体的で体験的な活用しやすいプログラムを提供する、環境教育ハンドブックを作成することとなった

・作成組織

環境教育の指導を行った実績のある区民（公募）、と小中学校の先生とで「環境教育プログラム部会」を立ち上げ作成

・環境教育ハンドブックの構成

(1)板橋区環境教育プログラム

主に小・中学校の先生等の指導者がすぐに授業や講座で活用できるよう、様々な場において実践・紹介されている環境教育プログラムを参考としながら、地域特性等を踏まえて開発した板橋区環境教育プログラムを詳細に掲載

(2)環境教育プログラム事例集

すでに様々な場において実践・紹介されているプログラムやすでに区内で取り組みが進んでいるプログラムを選定し、その概要を掲載

(3)プログラムバンク

板橋区環境教育プログラム、環境教育プログラム事例集、区内で利用できる施設、活動支援団体等の情報をインターネットで公開するプログラムバンクについて説明

(4)利用できる施設、活動支援団体等

区内で利用できる施設やフィールド、講師派遣等の支援が可能な団体等環境教育支援団体の情報を掲載

環境教育プログラム

特長

- ・発達段階(感受期:小学3～4年生、認識・問題把握期:小学5年～中学1年生、評価・意思決定期:中学2～3年生)に応じて開発した体験的・実践的プログラムを掲載
- ・主に学校の先生が授業で活用しやすいように、プログラムの進め方や時間配分、使用するものなど、学習を行う際に必要となる情報から参考となるデータや学習シートまで、できるだけ多くの情報を掲載
- ・必要に応じて、それぞれのフィールドや発達段階、知識の習熟度などによってプログラムを加除修正し、活用しやすいように組み替えて使用してすることが可能
- ・各プログラムは基本的に1回の授業でできるようなプログラムを掲載しているので、環境教育に関する一連の学習内容の一部として活用できる

環境教育プログラムの構成

■プログラムの概要

ねらい	プログラムを実施する目的について示します。		
目 標	プログラムを実施することによる、児童・生徒の到達目標を示します。		
分 野	プログラムの分野を示します。		
対 象	プログラムを活用できる学年の範囲を示します。		
主な教科	プログラムに関連する教科を示します。		
時 間	プログラムを実施するために必要な時間の目安を示します。	実施場所	プログラムの実施場所を示します。
使用するもの	プログラムを実施する際に使用するものを示します。		
全体の流れ	プログラムの全体の流れを示します。		
関連プログラム・事例	関連するプログラムや事例を示します。 No.○：板橋区環境教育プログラム、事例○：環境教育プログラム事例集		
参考情報	プログラムを作成するにあたり、参考とした資料や実施する上で参考となる情報等を示します。		

■進め方

プログラムの所要時間と、それぞれの時間で行う内容及び指導上の留意点を示します。

■使用するもの

プログラムの実施にあたり、使用するものの名称および数量を示します。

■参考となるデータ

プログラムのテーマに関連のあるデータを紹介しています。

■授業の様子

実際に授業を行った実績のあるものについて、授業の様子を写した写真を掲載しています。

■実施にあたって留意する点

プログラムを実施する際に、学校の先生等指導者が留意すべき点について示します。

■学習シート

プログラムを実施する際に、児童・生徒に配布する学習シートを示します。



事例（身近な自然を調べてみよう）

プログラムの概要

ねらい	身近な校庭や学校周辺の動植物を観察することで自然に関心を持つようになり、自然を大切に する心を育てる。
目 標	【感受期（小3、小4）】 身近な場所にも植物や昆虫などの生き物がいることに気づき、興味・関心を持つよう になる。 動植物を見る観察力を身につけ、命や自然を大切にすることができる心をもつようになる。
分 野	自然・アメンティ分野（みどり）
対 象	小学3年～中学1年
主な教科	生活、理科、総合学習、社会
時 間	70～125分
使用するもの	ビンゴカード、シール、画板、虫眼鏡、プラスチック容器又はビニール袋、筆記用具
全体の流れ	自然観察ビンゴ（低学年向き） ・ルール説明 ↓ ・ビンゴカードをもとに自然観察 ↓ ・ビンゴの答えあわせと振り返り
関連プログラム・事例	No.3：マイツリーを観察しよう、No.4：ヤゴ救出作戦、事例9：移動教室先での自然観察、 事例10：アサガオのリース作り、事例11：バケツで米づくり
参考情報	

進め方

時 間	学 習 内 容	指導上の留意点
10分	<ビンゴの説明> ビンゴのルールを説明する。班内での役割分担を決め、（シール貼り、動植物の採集、虫眼鏡観察など）、学習シート・道具を配布する。	・範囲とルールの徹底 ・班全員に役割を持たせ協力するよう促す。
40分	<ビンゴの実施> 事前に下見して観察できた自然物を9つ選んでおきビンゴカードを作っておく。低学年は、写真だけのビンゴを作り、見つけたものにシールを貼る方法がよい。	・安全管理 ・班行動ができていないか確認 ・ビンゴの内容のアドバイス
20分	<ふりかえり・まとめ> ビンゴの内容をふりかえりながら、答えなどを説明する。 ・いくつビンゴできた？ ・何が見つからなかった？ ・みんなに自慢したいものはあった？	・できたことをまずほめる ・特別な発見はみんなで確認 ・生き物を捕まえていたら、自然にかえすよう促す。

使用するもの

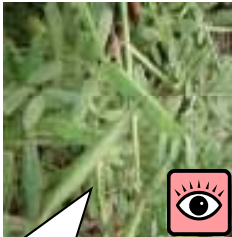
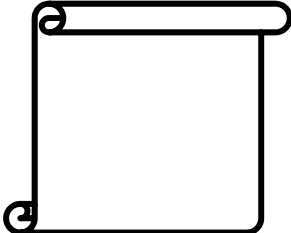
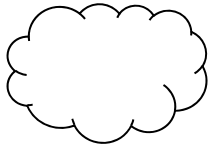
物 品 名	数 量	備 考
学習シート	1 班 1 枚	「校庭のいきものかんさつ」
シール	1 班 9 枚	ビンゴの数だけ
画板	1 班 1 枚	
※虫眼鏡	1 班 1 個	
※プラスチック容器又はビニール袋	1 班 1 個	採取したものを入れる
筆記用具	1 班 1 セット	シールを使わない場合

参考となるデータ:エコポリスセンターのホームページ等のサイト紹介

学習シート



校庭のいきものかんさつ

 えんどうまめみたいな さや があるよ！	チェックポイント 1 1、 () 2、 () 3、 () 	チェックポイント 2  わたしの葉っぱは「赤 ちゃんの手」みたいだ よ！ 葉っぱをさがして絵を書 こう
校庭のまん中で 目をとじてみよう！ 聞こえた といの声 2しゅるい 	本日のスペシャル 	 
チェックポイント 3 見つけた生きもの の絵を書こう  	 まるいも のを さがして ね！！	ぼくは カエルだよ！ どこにいるかさがしてね！ 



みつけよう
よく見よう



聞こえた音を
書こう



においをかいで
みよう



絵を書いてみよう
見つけたものを書こう

授業の様子

自然観察ビンゴの様子



自然観察ウォークラリーの様子



プログラムバンク

プログラムバンクは、環境教育ハンドブックの内容や学習シート・環境教育に必要な資料等の情報をインターネットで公開するもので環境教育に関する人材と環境学習プログラムの情報を集約し、一体的に提供するものである。プログラムバンクは、エコポリスセンターのホームページに構築している。



環境教育ハンドブック活用状況 (平成20年度)

活用小学校	54校中	40校	74%
活用中学校	23校中	11校	48%
活用小中学校 合計	77校中	51校	66%

環境教育推進プランの成果指標実績

成果指標		平成19年度	平成20年度	目標 (平成27年度)	達成率
①	エコポリスセンターホームページのアクセス件数	126,209件	84,531件	260,000件	32.5%
②	プログラムバンクの利用学校数 (ハンドブック利用学校数)	H20.3創設	25校 (51校)	全校(77校)	32.5% (66%)
③	プログラムバンクの登録人数	H20.3創設	40人	300人	13.3%
④	プログラムバンクの登録プログラム数	37件	78件	300件	26.0%
⑤	いたばしエコ・ショップの店舗数	95店舗	107店舗	150店舗	71.3%
⑥	環境保全キャンペーン参加者数	22,811人	21,677人	30,000人	72.3%
⑦	エコチェックシートの得点	51.9点	52.2点	満点(70点)	74.6%
⑧	小・中学校における環境学習の件数	705件	807件	2,000件	35.3%
⑨	環境講座等参加者数 (内エコポリスセンター環境講座等参加者数)	23,920人 (11,703人)	221,638人 (9,869人)	30,000人 (10,000人)	72.1% (98.7%)
⑩	環境イベント等参加者数 (内エコポリスセンター環境イベント等参加者数)	57,980人 (34,181人)	61,731人 (34,832人)	100,000人 (70,000人)	61.7% (49.8%)
⑪	エコポリスセンター事業へのボランティア等参加者数	656人	502人	1,000人	50.2%
⑫	エコポリスセンター登録環境団体数	13団体	14団体	30団体	46.7%
⑬	こどもエコクラブ登録団体数	8団体	9団体	30団体	30.0%
⑭	集団回収登録団体数	832団体	850団体	880団体	96.6%
⑮	環境学習講師派遣実施件数・派遣人数	33校500人(延 101校)	28校387人(延89 校)	全校(77校)500人	36.4% 77.4%